



東地中海地域ニュース

トルコ：PKK 問題に関する軍幹部の発言 (6月28日付現地各紙)

1. ブュックアヌト参謀総長の発言(6月27日、南西部アンタリア近郊のエイルディル軍事施設での記者会見にて)。
 - (1) 兵士は、対テロ訓練を受ける為にトルコ南東部に派遣される。同訓練を受けていない兵士は同地域に派遣しない。基本訓練はエイルディル地域にある山岳コマンド学校において行われる。
 - (2) 1名のPKKテロリストは10名の支援者を必要とする。イマーム(宗教指導者)や村長がPKKに協力している例もあり、支援者対策なくしてPKK対策は功を奏さない。
 - (3) 外国からの支援なしにテロリスト組織は存続できない。PKK組織は外国から多大な支援を受けており、我々はPKKを直接、間接に支援している国を熟知している。外国によるPKK支援の根絶は、軍事的ではなく政治的な任務である。

2. バシュブー陸軍司令官の発言(同日、同記者会見にて)。
 - (1) トルコ陸軍は、専門的訓練を受けた要員から成る全6個の特殊部隊旅団を編成する。
 - (2) 1,800 - 1,900人のPKKテロリストがトルコ国内に、3,350 - 3,750人のPKKテロリストが国外に存在する(国内外合計で5,150 - 5,750人)。国内で最も多くのPKKテロリスト・グループが存在する地域は、南東部のシイルト及びシュルナクである。
 - (3) PKKの活動は5月から7月にかけて増加している。PKKによる攻撃は、本年1月から現在までに442回発生した(去年同期比65%増加)。地雷攻撃が増えており、トルコ治安部隊は264回地雷攻撃のうち189回を回避した。回避できなかった75回地雷攻撃で64名の治安部隊員が死亡した。地雷及び手製爆弾を回避することは難しい。